

(一般屋内用) 品番 FSA(FSAH)42551A

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、 $5\sim 35^{\circ}\text{C}$ で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

施工上のご注意

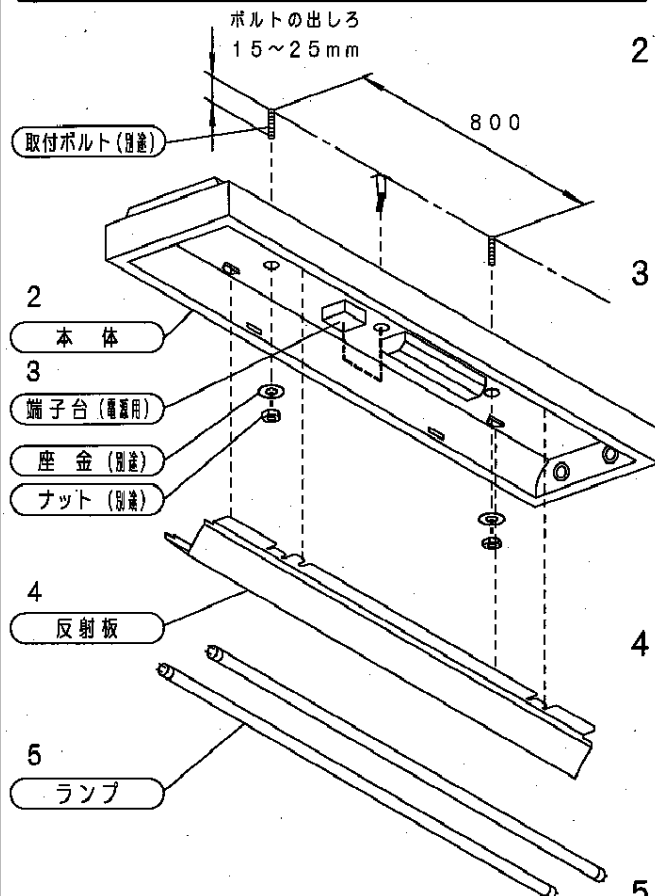
<起動方式PF(タイマーセルコン)の場合は、次の点についてご注意ください。>

- ・照明器具2台以下で、ほたるスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合がありますので、スイッチは2ヶ所までとしてください。

各部のなまえと取付方法

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。



1 取付前の確認

- 器具質量（最大5.8kg）に十分に耐えるよう、取付ボルトまたは木ネジ取付部（ネジの掛かり代）の強度を確認する。（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。木ネジは、丸木ネジの呼び4.1を使用する）不備があると器具落下の原因となります。

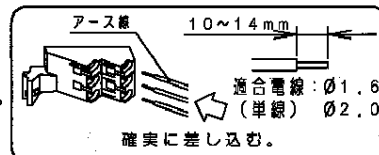
2 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。電源プッシングがついていない電源穴を使用する場合は必ず電源プッシングを付替えてください。
- 本体を取付ボルト又は、木ネジで確実に取付ける。不備があると器具落下の原因となります。



3 電源線・アース線の接続

- 耐熱チューブ（同梱）を電源線にかぶせる。（下図参照）
- 電源線・アース線を確実に差し込む。
- D種（第3種）接地工事が必要。
- 端子台の容量は、20Aです。



（送り機能付）ただし、パネルタイプのプラスユニット（※1）を取付ける場合は、送り総容量を10A以下としてください。

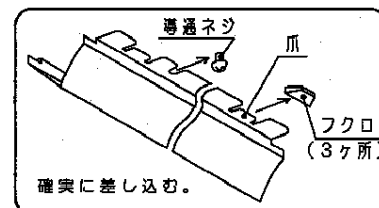
（※1） FHK42306F・FHK42307F・FHK42308F・FHK42309F

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

4 反射板の取付

- 反射板の爪を本体のフクロに確実に差し込む。
- 反射板の切り欠きを導通ネジに差し込んで確実に締め付ける。

取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。



5 ランプを確実に取付ける

- ランプをソケットにセットしてから、90°回転させる。取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

耐熱チューブの取付方法

警告

- 耐熱チューブは下記にしたがい確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。
- 保護チューブを切断しない。感電・火災の恐れがあります。
- 電源送り配線を行う場合は、電源線・送り線ともに取付ける。

注）分岐部分は電源穴近傍にくるようにしてください。

1 耐熱チューブの取付

- 電源線のシース部を剥く。（約125mm）
- 同梱の耐熱チューブ（透明）を電源線（黒・白）に被せる。

注）・根元まできっちりと差し込んでください。

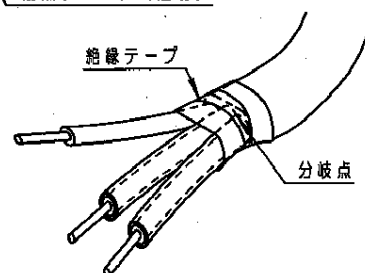
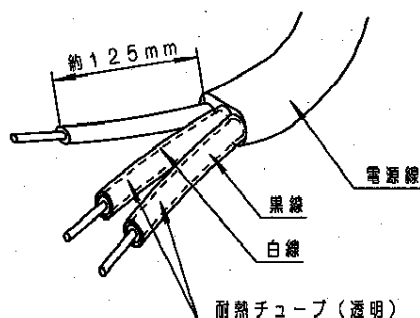
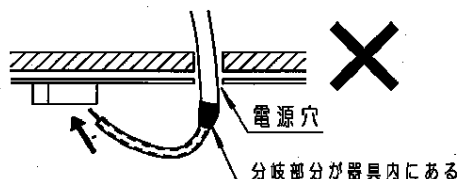
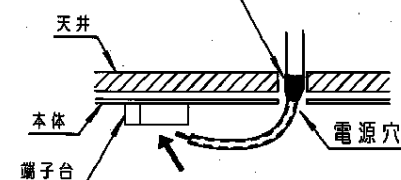
- ・アース線（赤）への取付けは不要です。

2 分岐点の保護

- 分岐点（保護チューブの被っていない箇所）に絶縁テープを巻き付け保護する。
- 結線後、電源線を電源穴（天井裏）に押込む。

分岐部分

※電源穴近傍にあること

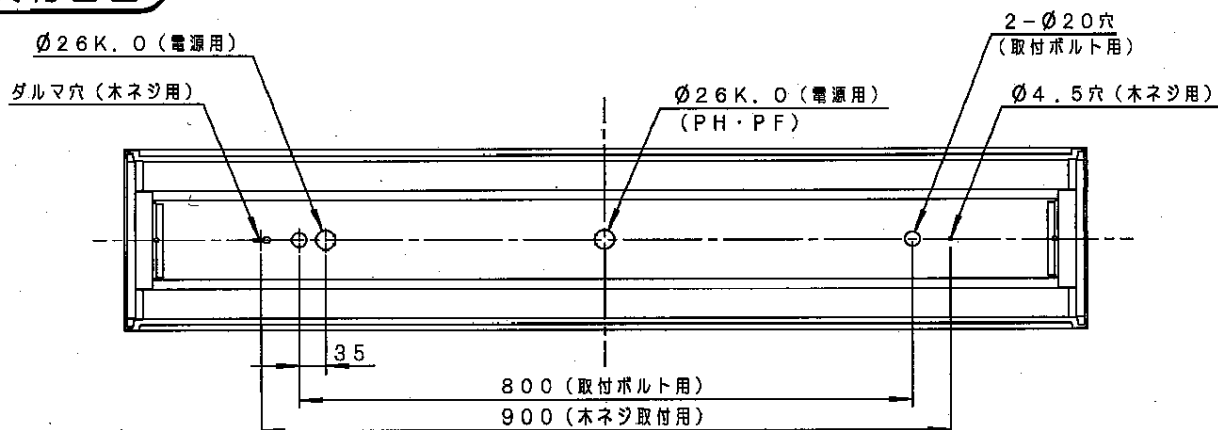


プラスユニットの取付

・プラスユニットの取付方法は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

プラスユニット商品名	
	・FSK42259 (スペースコンフォートルーバ)
	・FSK42215 (OA金属ルーバ クラス1)
	・FSK42225 (OA金属ルーバ クラス2)
	・FSK42235 (OA金属ルーバ クラス3)
	・FSK42270F (マルチコンフォート15ルーバ)
	・FHK42306F (乳白パネル)
	・FHK42307F (プリズムパネル)
	・FHK42308F (乳白パネル)
	・FHK42309F (プリズムパネル)
	・FSK42245F (アルミルーバ)

器具背面図



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
(チェックシート番号: CLX2021BA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

＜起動方式PF（タイマーセルコン）の場合は、次の点についてもご注意ください。＞

- ・PF方式は自動初期照度補正機能がついています。定格出力の約70%の光束を保つように設計されています。
- ・ランプ交換は器具単位での交換をおすすめします。2灯用器具の場合、1本のみの交換では適正な明るさが得られません。
- ・電源投入後、約1秒間、100%点灯し、調光点灯します。
- ・ランプや安定器のパラツキ、経年変化等により輝度差、色ムラが若干目立つことがありますが無異常ではありません。
- ・ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。

累積点灯時間のリセットについて

タイマーセルコンは累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。従って、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

ランプ寿命までランプを使用される場合（自動リセットについて）

タイマーセルコンには、ランプ寿命を判断し（この時、間欠発振後、発振停止となります）、自動リセットを行う機能が付いていますので、自動的に累積点灯時間をリセットします。後述の手動リセットは不要です。

ランプ寿命前に新しいランプに交換される場合（手動リセットについて）

ランプ寿命前にランプ交換をされる場合、自動リセットが作動しませんので、手動によるリセット操作が必要となります。手動によるリセット操作方法は以下の通りです。

- 1) ランプを取り外す。
- 2) 電源ON（1～2秒）→OFF（3秒以上）を3回繰り返す。
- 3) 交換ランプを取り付ける。

手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取り付け後の電源投入10秒後に調光開始（100%点灯→70%点灯）します。

- ・停電等による電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
- ・周囲温度が約5℃～約10℃で使用される場合、始動時に移動騒音が発生することがございますが、数秒～数十秒で解消いたします。
- ・調光機能などとの組合せはできません。

保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品

Hf 蛍光ランプ

FHF32

⚠ 注意

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。